

# オーストラリアの産業と多文化社会

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 **オセアニア州**

今日の問い

オーストラリアは、どのようにアジアとの結びつきを強めてきたのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

## 1 鉱産資源と農牧業

資源と農業

ろてんぼり  
**露天掘り**

地表から、すりばちのように直接掘って掘る方法。

ほうぼく  
**放牧**

牛や羊などの家畜を、牧場に放して育てること。

オーストラリアは**鉱産資源**が豊かで、北西部では**鉄鉱石**、東部では**石炭**が多くとれる。地表から直接掘って掘る**露天掘り**で大量に採掘され、日本も鉄鉱石や石炭の多くをオーストラリアから輸入している。

農業では、乾燥に強い**羊**や**牛**の**放牧**がさかんで、羊毛や牛肉が輸出されている。降水量の多い南東部や南西部では、**小麦**の栽培も行われている。



### オーストラリアの資源と農牧業

鉄鉱石は北西部、石炭は東部で多くとれる。乾燥した内陸の砂漠のまわりでは牛や羊の放牧、雨の多い南東部・南西部では小麦の栽培がさかん。

## 2 アジアとの結びつきと多文化社会

多文化社会

はくごうしゅぎ  
**白豪主義**

ヨーロッパ系以外の移民を制限した政策。1970年代に廃止。

たぶんかしゅぎ  
**多文化主義**

さまざまな民族の文化を、たがいに尊重しようとする考え。

**APEC**

アジア太平洋経済協力。1989年に発足した。

オーストラリアは、かつてイギリスの植民地だったことから、**イギリス**との結びつきが強く、主な貿易相手もイギリスだった。しかし、イギリスがヨーロッパの国々との結びつきを強めると、距離の近いアジアの国々との貿易がのび、現在は**中国**が最大の貿易相手で、**日本**なども主な相手である。1989年には、オーストラリアなどのよびかけで**APEC(アジア太平洋経済協力)**が発足した。

移民の受け入れも変わった。ヨーロッパ系以外の移民を制限する**白豪主義**が1970年代に廃止されると、アジアからの**移民**が増えた。現在は、先住民のアボリジニやさまざまな国から来た人々の文化を尊重する**多文化主義**のもと、**多文化社会**を築こうとしている。

|        | かつて             | 現在            |
|--------|-----------------|---------------|
| 主な貿易相手 | イギリス            | 中国・日本などアジアの国々 |
| 移民     | ヨーロッパ系が中心(白豪主義) | アジアからの移民が増加   |

### 問いへの答え

オーストラリアは、かつてはイギリスとの結びつきが強かったが、距離の近いアジアの国々との貿易がのび、現在は中国や日本などに鉄鉱石や石炭を多く輸出している。また、白豪主義を廃止してアジアからの移民を受け入れるようになり、多文化主義のもとで、さまざまな人々がともに暮らす社会を築こうとしている。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

